

各報道機関文教担当記者 殿

平成27年度文部科学省 「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業 （COC+事業）」に採択

このたび、平成27年度文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）」*において、本学から申請した「金沢・加賀・能登で地域思考型教育による夢と志を持つ人材養成」が採択されましたのでお知らせします。

同事業において、本学は、地域特性や課題が違う県内の3つの地域（能登、金沢および加賀）をフィールドとして、若者（学卒者）の石川県内での就業率向上を目指します。

今後は、本学が中心となり、県内の高等教育機関、自治体、企業等と連携しながら、「ICT教育カリキュラムの開発・実施」、「新インターンシップの開発・実施」、「起業環境の構築」などを実施していくこととなります。また、近々、関係機関と事業実施のための協定を締結することとなります。

なお、本事業の概要は別紙のとおりです。

※「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）」:

平成27年度から、大学が地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先の創出をするとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を支援することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的とするもの。

【本件に関するお問い合わせ先】

金沢大学総務部地域連携室長 竹田
TEL 076-264-5190

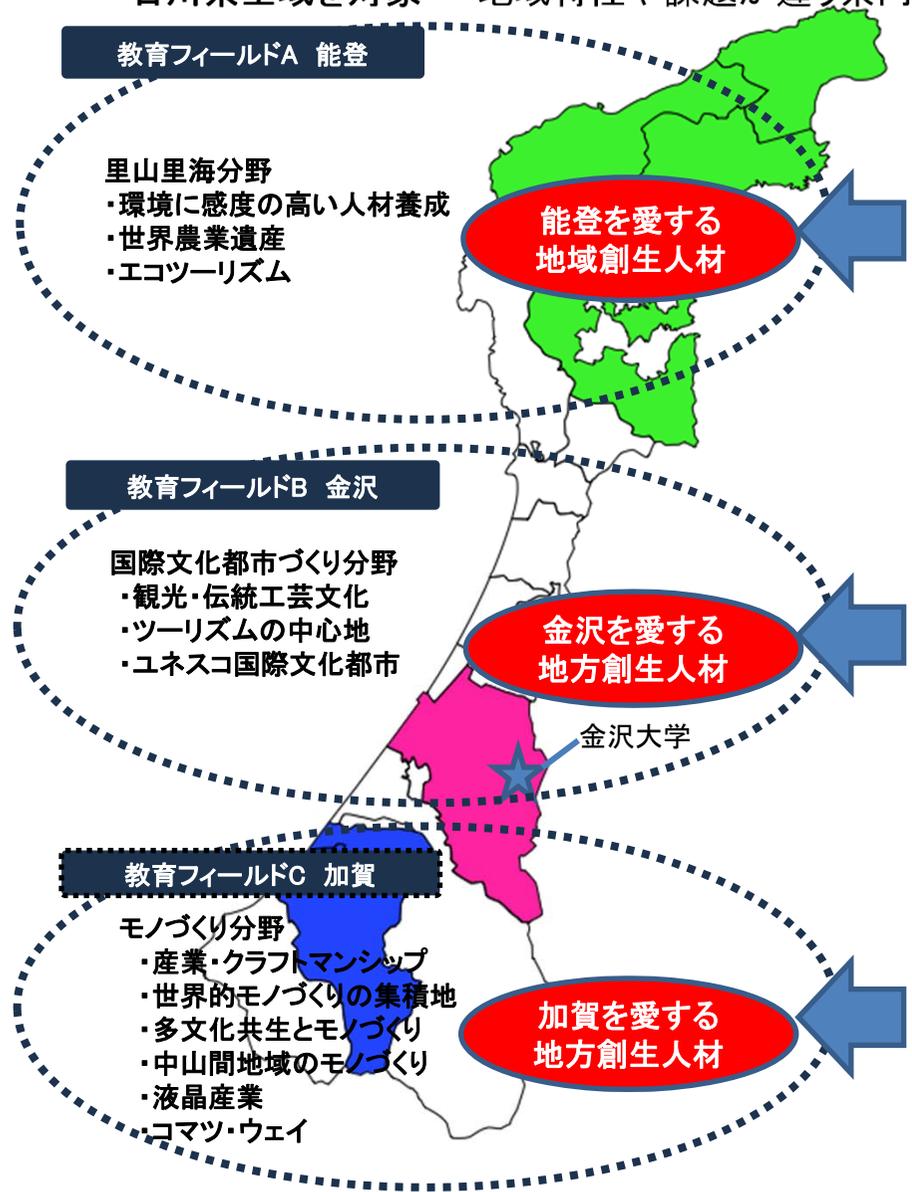
【広報担当】

金沢大学総務部広報室 寺口
TEL 076-264-5024

「金沢・加賀・能登で地域思考型教育による夢と志を持つ人材養成」

事業期間:平成27年度～平成31年度

石川県全域を対象・・・地域特性や課題が違う県内の3つの地域をフィールドに、若者の地域定着を促進。



金沢大学

- 各自治体、県内大学、大学コンソーシアム石川、企業群をコーディネート
- 総合大学である金沢大学がリーダーシップを発揮して事業実施
- それぞれの地域特性を活かし、地域ニーズに合致したきめ細かい教育を開発・実施。
- その地域に「夢」を持ち、その地域で生き抜く「志」を持つ人材を養成
- 地域に定着するとともに当該地域の発展を担うリーダーとして地方を担う。

学卒者(若者)の地元定着に向けた3つの取組み

1. ICT教育カリキュラムの開発・実施

- ICTを活用し、将来的に県内全学生が受講できる科目「地域創生概論(案)」の構築
→国際化の必要性から石川の文化・地域資源の理解総合的なICT科目を開発、J-MOOCで配信

2. 新インターンシップの開発・実施

- 学生キャリア・ライフ・デザイン開発をベースに各地域における優良企業とのマッチングを実施
→各教育フィールドの地域特性を生かしたインターンシップを開発。学生は参加する段階で「志」を持つ。

3. 起業環境構築「innova-emotion」

- 大学の知を活用し、若者に夢のある起業モデルの構築
→若い「知」の集積した場所に「夢」が実現できる自由な起業環境を自治体と協働で整備する。



上記「地域思考型教育」による地域定着雇用増に向けた5年間の取り組みにより

石川県内の就業率向上

10%を目指す

数値目標(就業率向上)＝平成31年度 10%UP(対平成26年度比)

事業協働地域＝(石川県)

事業協働機関＝(大学7、自治体12、企業等10) (スタートアップ時点 H27.9)

●高等教育機関

(参加大学)

金沢工業大学

金沢学院大学

金沢星稜大学

金城大学

石川県立大学

石川県立看護大学

北陸大学

(協力大学)

JAIST

芝浦工業大学

金城大学短期大学部

●自治体

石川県

金沢市

七尾市

小松市

輪島市

珠洲市

加賀市

白山市

能美市

野々市市

穴水町

能登町

●企業・団体等

北陸銀行

北國銀行

小松製作所

PFU

大学コンソーシアム石川

石川県産業創出支援機構

社会福祉法人 佛子園

能登キャンパス構想推進協議会

NPO法人 角間里山みらい

金沢森林組合

金沢大学 COCプラス事業 事業実施・連携体制図

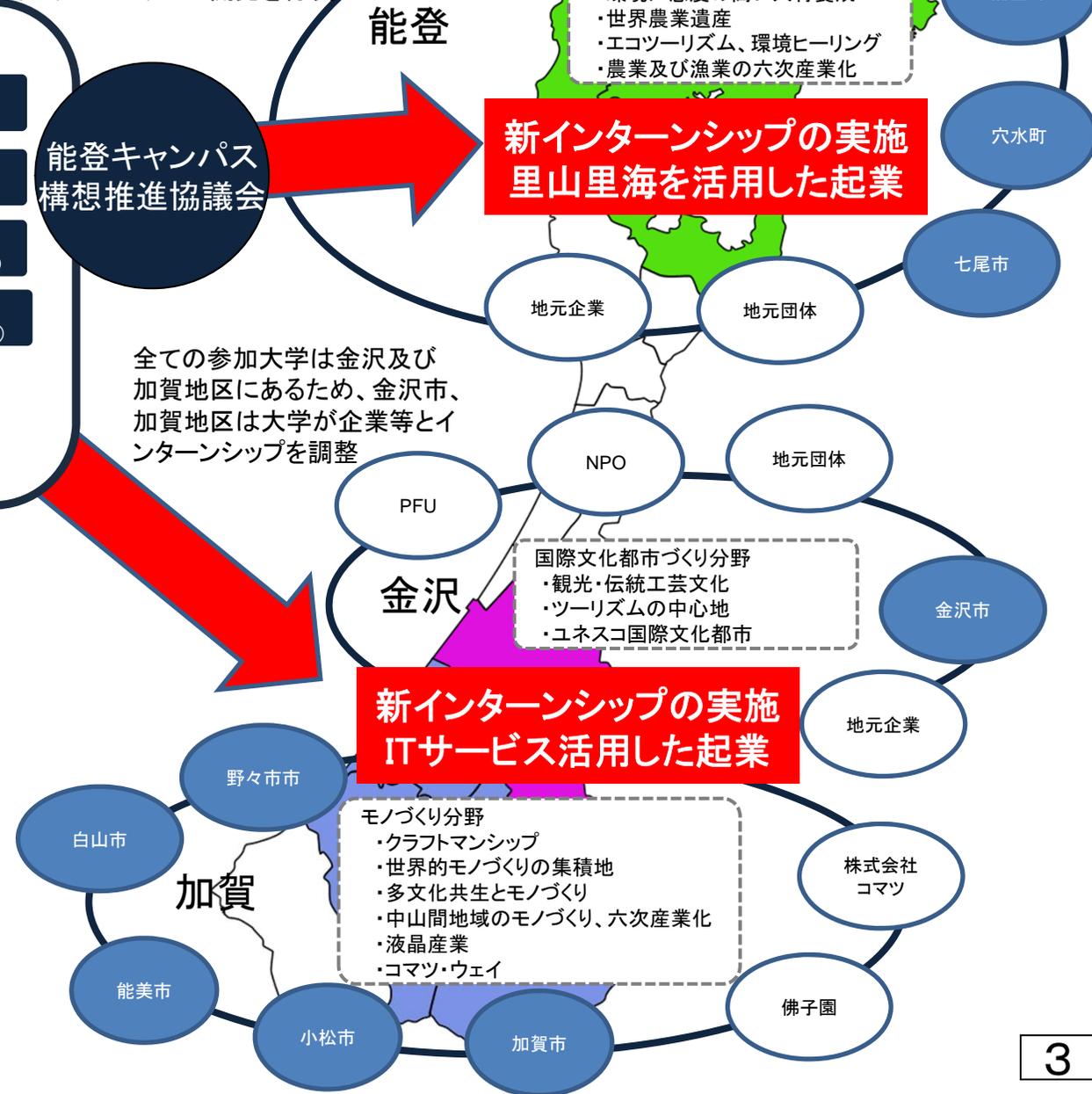
能登地区での事業は、能登
キャンパス構想推進協議会
を活用して、自治体調整等
インターンシップの開発を行う。



県内大学の科目
受講については、
大学コンソーシアム
の枠組みを活用し、
J-mooc科目による
「地方創生概論」を
加盟する全大学で
単位互換する体制を
構築する。



県内の全大学生の受講



全ての参加大学は金沢及び
加賀地区にあるため、金沢市、
加賀地区は大学が企業等とイ
ンターンシップを調整